「し」で始まる語彙辞典（メジャー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「し」で始まる語彙辞典（メジャー） 4

おわりに 31

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「し」で始まる語彙辞典（メジャー）

しあい - かん【試合勘】
試合の流れの変化を瞬間に感じ取る感覚。「―を取り戻す」

思案（しあん）に余・る
いくら考えても、よい考えが出てこない。思案に尽きる。「―・って友人に打ち明ける」

思案（しあん）に落・ちる
（多く打消しの語を伴って用いる）理解できる。合点がいく。

思案（しあん）に暮・れる
迷って考えが定まらない。「就職か進学か―・れる」

思案（しあん）に沈・む
深く考え込む。「将来を憂え―・む」

し - い【恣意】
自分の思うままに振る舞う心。気ままな考え。「選択は―に任せる」「―的判断」

し - い【示威】
［名］（スル）
威力や気勢を他に示すこと。デモンストレーション。「―行為」「―行進」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しい - てき【恣意的】
［形動］
気ままで自分勝手なさま。論理的な必然性がなく、思うままにふるまうさま。「―な判断」「規則を―に運用する」

し - えん【紫煙】
紫色の煙。紫色のもや。また、特に、タバコの煙。「―をくゆらす」

しお - けむり【潮煙】
波が砕けて飛び散るしぶき。しおけぶり。「岩礁に―が上がる」

しかく - しめん【四角四面】
［名・形動］
① 真四角であること。「―のやぐら」
② ひどくまじめで堅苦しいこと。非常にかしこまっていること。また、そのさま。「―な応答」「―にあいさつをする」

しかく - ば・る【四角張る】
［動ラ五（四）］
① 四角形をなす。かどばる。「―・った顔」
② 改まったり緊張したりして、堅苦しい態度をとる。「そう―・らずに楽にしなさい」

歯牙（しが）にも掛（か）け◦ない
問題にしない。無視して相手にしない。「世間のうわさなんか―◦ない」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

敷居(しきい)が高(たか)・い
不義理や面目のないことがあって、その人の家へ行きにくい。

しぎゃく - てき【嗜虐的】
［形動］
残虐なことを好むさま。サディスティック。「―な性格」

しげり - あ・う【茂り合う】
［動ワ五（ハ四）］
草や葉が重なって茂る。「下草が―・う」

しし - そんそん【子子孫孫】
子孫の末の末。子孫の続く限り。「―に至るまでの家訓とする」

しし - ふんじん【獅子奮迅】
獅子がふるい立って暴れまわるように、激しい勢いで物事に対処すること。「―の働きをする」

し - しゅく【私淑】
［名］（スル）
《「孟子」離婁下の「子は私(ひそ)かにこれを人よりうけて淑(よし)とするなり」から》
直接に教えは受けないが、ひそかにその人を師と考えて尊敬し、模範として学ぶこと。「―する小説家」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

し - じ【師事】
［名］（スル）
師として尊敬し、教えを受けること。「著名な陶芸家に―する」

し - じゅん【至純】
［名・形動］
まったくまじりけのないこと。この上なく純粋なこと。また、そのさま。「―な（の）愛」

し - じょう【私情】
個人的な感情。私意。「―にとらわれる」「―を交える」「―を捨てる」

し - じょう【詩情】
① 詩にみられるような趣。詩的な情景。「―あふれる夏の高原」
② 詩に表現されている気分。詩のおもしろみ。「―を解する」
③ 詩を作りたくなるような気持ち。「―をそそる」

し - ぞう【私蔵】
［名］（スル）
個人が所蔵すること。また、そのもの。「古写本を―する」

し - ぞう【死蔵】
［名］（スル）
活用せずに、しまい込んでおくこと。退蔵。「多くの資料が―されている」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

した - あらい【下洗い】
［名］（スル）
汚れのひどいものを洗濯するときなどに、前もってざっと洗うこと。予洗。「洗濯機に入れる前に―しておく」

し - たい【肢体】
両手と両足。手足。また、手足とからだ。「しなやかな―」

舌（した）が回・る
よどみなくしゃべる。「よくあれだけ―・るものだ」

したさき - さんずん【舌先三寸】
口先だけでうまく相手をあしらうこと。また、その言葉。舌三寸。「―で金をだまし取る」

舌（した）の根の乾かぬうち
言葉を言い終わるか終わらないうち。前言に反したことを言ったりしたりしたときに、非難して用いる。「―に、もううそをつく」

した - め【下目】
［名・形動］
視線を下に向けること。また、その目つき。「―で見る」「―を使う」⇔上目（うわめ）。

しため - づかい【下目遣い】
顔は動かさないで視線を下に向けること。「いたずらが見つかり、―をして小さくなっていた」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

舌(した)を二枚(にまい)に使(つか)・う
前に言ったことと後で言ったこととが違う。また、相手しだいで違ったことを言う。二枚舌を使う。

し - だい【至大】
［名・形動］
この上もなく大きいこと。また、そのさま。多く、目に見えない、形のないものについていう。「―な（の）業績」「至高―」

しだい - しだいに【次第次第に】
［副］
少しずつ順々に。だんだんに。「―風雨が強まる」

し - だん【指弾】
［名］（スル）
つまはじきすること。非難して排斥すること。「世間から―される」

質(しち)に置・く
財物を質として預ける。質入れする。「カメラを―・いて金を借りる」

質(しち)に取・る
質物として財物を預かる。「指輪を―・る」

しち - めんどう【しち面倒】
［形動］［文］［ナリ］
ひどくめんどうなさま。「―な手続き」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しち - めんどうくさ・い【しち面倒臭い】
［形］［文］しちめんだうくさ・し［ク］
非常に厄介だ。ひどくめんどうくさい。「―・い手続き」

死中(しちゅう)に活を求める
《「晋書」呂光載記から》
ほとんど助からないような状態のなかで、なおも生きのびる道を探し求める。死中に生を求む。

しっ - く【疾駆】
［名］(スル)
馬や車などを速く走らせること。また、速く走ること。「―するスポーツカー」

失笑(しっしょう)を買・う
愚かな言動のために笑われる。「的外れな発言をして―・う」

しっ - せき【叱責】
［名］(スル)
他人の失敗などをしかりとがめること。「部下をきびしく―する」

しつじつ - ごうけん【質実剛健】
［名・形動］
飾り気がなく、まじめで、強くてたくましいこと。また、そのさま。「―の校風」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しつ - じゅん【湿潤】
［名・形動］
水分が多く湿っていること。湿気の多いこと。また、そのさま。「―な気候」

しつめい - し【失名氏】
名前のわからない人を示すときなどに用いる語。なにがし。無名氏。「―の詩」

しな - もち【品持ち】
生鮮食料品などの品質が落ちずに、もとの状態が保たれること。「―がよい」

科(しな)を作・る
① なまめかしいしぐさをする。「―・ってにっこり笑いかける」
② 上品そうなようすをする。体裁を整える。

死(し)に水(みず)を取・る
死に際の人の唇を水でしめしてやる。転じて、臨終まで介抱する。「父の―・る」

しのび - がた・い【忍び難い】
［形］［文］しのびがた・し［ク］
がまんしたり耐えしのんだりすることができない。「座視するには―・いものがある」

し - ふく【紙幅】
① 紙のはば。
② あらかじめ定められた原稿などの枚数。「―が尽きる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

し - ふん【私憤】
個人的な事柄でのいきどおり。個人としていだく怒り。「―を抱く」⇔公憤。

しふん - の - か【脂粉の香】
紅やおしろいのにおい。女性の化粧のにおい。「―がただよう」

渋皮(しぶかわ)が剥(む)・ける
① あか抜けして美しくなる。洗練される。「―・けたいい女」
② 物事に慣れて巧みになる。

渋(しぶ)が抜・ける
言動が洗練される。あかぬけする。「―・けて都会風になる」

しぶん - ごれつ【四分五裂】
［名］(スル)
いくつにも分かれること。秩序をなくしてばらばらになること。「党内が―している」

しま - づたい【島伝い】
船などで島から島へ伝って行くこと。「―に船を進める」

しみん - かんかく【市民感覚】
世間一般の人々がもつ感じ方や考え方。「―を反映した政策」

死命(しめい)を制・する
相手の運命を左右するような急所を押さえる。「敵国の―・する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しも‐が・れる【霜枯れる】
［動ラ下一］［文］しもが・る［ラ下二］
草木が霜にあって枯れる。「―・れて荒涼とした野原」

しゃくり‐なき【噦り泣き】
［名］(スル)しゃくりあげて泣くこと。「しかられて―する」

しゃこう‐しん【射幸心】
まぐれ当たりによる利益を願う気持ち。「―をあおる」

しゃなり‐しゃなり
［副］
身のこなしをしなやかにし、気取って歩くさま。しゃなしゃな。「盛装した女性が―（と）出てくる」

しゅう‐えん【周縁】
もののまわり。ふち。「大都会の―部」

しゅう‐かい【醜怪】
［名・形動］
並外れてみにくいこと。また、そのさま。「―極まりない金権政治」「―な容貌」

しゅう‐こう【周航】
［名］(スル)
船で方々を巡ること。船でひと巡りすること。「湾内を―する観光船」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

宗旨(しゅうし)を変・える
信仰する宗教・宗派を変える。転じて、今までの主義・主張・職業などを捨て、別の方面に進む。「ビール党から日本酒党に―・える」

しゅう - じゅく【習熟】
［名］(スル)
そのことに十分に慣れ、じょうずになること。「運転技術に―する」「―度」

しゅう - じょう【醜状】
みにくい状態。見苦しいありさま。醜態。「金権政治の―を暴く」

しゅうじん - かんし【衆人環視】
大勢の人々が周囲をとりかこむようにして見ていること。「―の中で暴漢に襲われる」

しゅう - せき【集積】
［名］(スル)
集めて積み上げること。また、集まって積み重なること。「滞貨を―する」

しゅうせき - じょ【集積所】
物を集めて積み上げておく所。「貨物―」「ごみ―」

しゅう - ぞう【収蔵】
［名］(スル)
① 取り入れてしまっておくこと。「書画骨董(こっとう)を―する」「―庫」
② 収穫した農作物を貯蔵すること。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しゅう - たい【醜態】
見苦しい態度・行動。恥ずべき状態。「―をさらす」「―を演じる」

しゅう - だつ【収奪】
［名］（スル）
奪い取ること。強制的に取り上げること。「占領軍が土地を―する」

秋波（しゅうは）を送・る
異性の関心をひこうとして色目を使う。こびを送る。「向かい側の男性に―・る」

しゅう - ばつ【秀抜】
［名・形動］
他よりぬきんでてすぐれていること。また、そのさま。「―な作品」

しゅう - ぶん【醜聞
その人の名誉や人格を傷つけるような、よくないうわさ。男女関係や金銭に関する評判など。スキャンダル。

しゅう - ぼう【衆望】
大勢の人たちから寄せられる期待・信頼。「―にこたえる」

しゅう - みつ【周密】
［名・形動］
注意が隅々にまで行き届いていること。また、そのさま。「―をきわめた計画」「―な配慮」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しゅう - ゆう【舟遊】
［名］（スル）
舟に乗って遊ぶこと。ふなあそび。「長良川で―する」

しゅう - らん【周覧】
［名］（スル）
めぐり見ること。見てまわること。「琵琶湖を―する」

しゅう - れい【秀麗】
［名・形動］
他のものより一段とりっぱで美しいこと。また、そのさま。「富士の―な姿」「眉目（びもく）―」

しゅう - れつ【醜劣】
［名・形動］
みにくくて程度の低いこと。また、そのさま。「―な行為」

しゅう - ろん【衆論】
多くの人の言うところ。多くの人の意見。「―が一致する」

しゅく - い【祝意】
喜び祝う気持ち。祝いの心。賀意。「―を表する」

しゅく - い【宿意】
① 前々から持ちつづけてきた考え。年来の希望や志。「―がかなう」
② かねてから抱いている恨み。宿怨（しゅくえん）。宿恨。「―を晴らす」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しゅく‐がん【宿願】
前々から抱いていた願い。かねてからの願望。宿望。「―を果たす」

しゅく‐げん【縮減】
［名］（スル）
ちぢめたり、へらしたりすること。特に、計画・予算などの規模を小さくすること。「開発計画を―する」

しゅく‐ぜん【粛然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
なんの物音も聞こえず静かなさま。また、静かで行儀正しいさま。「―として声なし」

しゅ‐しょう【主唱】
［名］（スル）
意見・主張などを、中心となってとなえること。「条約改正を―する」

しゅ‐しょう【首唱】
［名］（スル）
いちばん先に言い出すこと。「殖産興業を―する」

しゅ‐どう【主動】
中心になって行動すること。主となって働くこと。「―的な立場」

しゅ‐どう【主導】
［名］（スル）
中心となって他を導くこと。「若手が大会の運営を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

朱筆(しゅひつ)を入・れる
朱で書き入れや訂正などをする。朱を入れる。朱筆を加える。「原稿に―・れる」

朱(しゅ)を入・れる
朱筆で、訂正・書き入れ・添削などをする。「ゲラ刷りに―・れる」

朱(しゅ)を注・ぐ
恥じらいや怒りなどで、顔全体が真っ赤になるようすのたとえ。「満面に―・ぐ」

しゅん - けん【峻険】
［名・形動］
① 山などの高く険しいこと。また、そのさま。「―な山並み」
② 態度などがきびしくて、近寄りがたいこと。また、そのさま。「―な老学者」

しゅん - こう【竣工】
［名］(スル)
建築工事や土木工事が終了すること。落成。「新社屋が―する」「―式」

しゅん - じゅん【逡巡】
［名］(スル)
決断できないで、ぐずぐずすること。しりごみすること。ためらい。「大学に進むべきか否か―する」「遅疑―」

しゅん - ばつ【俊抜】
［名・形動］
才知などが、他より目立ってすぐれていること。また、そのさま。「―な才覚」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しゅん - ばつ【峻抜】
［名・形動］
山などが高くそびえていること。転じて、他よりとびぬけてすぐれていること。また、そのさま。「統率力の―な人」

しゅん - びん【俊敏】
［名・形動］
才知がすぐれていて判断や行動がすばやいこと。また、そのさま。「―な新聞記者」

しゅん - べつ【峻別】
［名］（スル）
厳しくはっきりと区別すること。また、その区別。「公私を―する」

雌雄（しゆう）を決・する
《「史記」項羽本紀から》
戦って、勝敗を決める。決着をつける。「この一戦に―・する」

しょ - い【書意】
書かれたものに盛り込まれている趣旨。「―をくみとる」

しょう - かい【哨戒】
［名］（スル）
敵の襲撃を警戒して、軍艦や飛行機で見張りをすること。「領空を―する」「―飛行」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しょう‐き【匠気】
好評を得ようとする気持ち。芸術家などが、自分の作品の出来栄えを見せびらかそうとする気どり。「作品に―が見える」

しょう‐き【商機】
① 商売上のよい機会、または機略。「―をのがす」
② 商売上の機密。

しょう‐さん【消散】
［名］（スル）
消えてなくなること。また、散らしてなくすこと。「霧が―する」「不安を―させる」

しょう‐しん【焦心】
［名］（スル）
心をいらだたせること。思い悩みあせること。また、その気持ち。「事業の不振に―する」

しょうじょう‐てき【小乗的】
［形動］
視野が狭く、卑近なことにとらわれすぎるさま。「―なものの見方」

しょう‐ぜん【悚然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
ひどく恐れるさま。ぞっとしてすくむさま。「―として立ちすくむ」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しょう‐ぜん【悄然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
元気がなく、うちしおれているさま。しょんぼり。「―たる後ろ姿」「―としてうつむく」

しょう‐そう【少壮】
［名・形動］
若くて意気盛んなこと。また、そのさま。「―の実業家」

しょうそく‐すじ【消息筋】
ある方面の事情に詳しい人々や関係機関。「政界の―によれば」

しょうそく‐つう【消息通】
ある方面の事情に詳しいこと。また、その人。「角界の―」

しょう‐ち【召致】
［名］（スル）
呼び寄せること。「関係者を―する」

しょう‐ち【招致】
［名］（スル）
招き寄せること。招いて来てもらうこと。招聘。「冬季五輪を―する」

しょう‐どう【唱道】
［名］（スル）
ある思想や主張を人に先立って唱えること。「新説を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しょう - どう【唱導】
［名］（スル）
ある思想・主張を唱えて人を導くこと。「平和運動を―する」

しょう - は【翔破】
［名］（スル）
鳥や飛行機などが、かなり長い距離を飛びとおすこと。「パリまで無着陸で―する」

しょうばい - ぎ【商売気】
① 商売に対する損得を考えて物事を処理しようとする態度。「―のない人」「―を出す」
② その職業人が持つ特有な関心。職業意識。「―が出てついメモを取る」

しょう - ゆう【小勇】
血気にはやった、つまらない勇気。「いたずらに―に走る」⇔大勇。

しょう - りつ【聳立】
［名］（スル）
まわりの物よりもひときわ高くそびえ立つこと。「―する雄峰」

しょう - りょう【称量】
［名］（スル）《「称」「秤」は、はかる意》
はかりにかけて、重量をはかること。転じて、事物の多少・軽重などを考え合わせること。「両者の立場を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しょう‐りょう【渉猟】
［名］（スル）
① 広くあちこち歩きまわって、さがし求めること。「山野を―する」
② 調査・研究などのために、多くの書物や文書を読みあさること。「内外の文献を―する」

しょ‐かい【所懐】
心に思っている事柄。思うところ。所感。「―を述べる」

しょ‐がい【書外】
書面に記した以外の事柄。「―の意をくみとる」

食指(しょくし)が動・く
《鄭(てい)の子公が人さし指が動いたのを見て、ごちそうにありつける前兆であると言ったという、「春秋左伝」宣公四年の故事から》
食欲が起こる。転じて、ある物事に対し欲望や興味が生じる。「条件を聞いて思わず―・いた」

触手(しょくしゅ)を伸ば・す
欲しいものを得ようとして働きかける。「輸出業に―・す」

しょく‐ぶん【職分】
その職についている者がしなければならない仕事。「―を全うする」「―を果たす」「画家の―」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しょく - ぼう【嘱望】
［名］（スル）
人の前途・将来に望みをかけること。期待すること。「将来を―されている若手社員」

しょ - さん【所産】
ある事の結果として生み出されたもの。作り出したもの。「努力の―」

しょたい - くずれ【所帯崩れ】
結婚した女性が所帯じみてきて新婚当初の魅力を失うこと。「―のない若々しい母親」

しょたい - じ・みる【所帯染みる】
［動マ上一］
考え方、態度などが、所帯持ち特有の生活臭を帯びて、はつらつとした感じがなくなる。「子供がいるのに―・みたところがない」

しょ - だん【処断】
［名］（スル）
さばいて、はっきり結論を出すこと。きっぱりと決定し処理すること。「―を下す」「事件の責任者を―する」

し - よう【至要】
［名・形動］
非常に大切なこと。また、そのさま。「―な議案を優先審議する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

し - よう【飼養】
［名］（スル）
動物に食料を与えて養い育てること。「家畜を―する」

しら - きちょうめん【白几帳面】
［名・形動］
ひどくきまじめなこと。また、そのさま。「―な人」

尻馬（しりうま）に乗・る
分別もなく他人の言動に同調して、軽はずみなことをする。人のあとについて、調子に乗ってそのまねをする。「―・って騒ぐ」

尻（しり）がこそばゆ・い
場違いで落ち着かない。気恥ずかしくて居心地が悪い。「皆に注目されて―・い」

しり - きれ【尻切れ】
後ろのほうが切れていること。中途半端なこと。しりきり。「話が―に終わる」

しりし - りゃく【私利私略】
自分の利益を第一と考え、そのためにめぐらす策略。「総裁の発想は―というものだ」

尻（しり）に付（つ）・く
人の後ろについていく。人の配下につく。尻に立つ。「人の―・いて悪口を言う」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

尻(しり)に火(ひ)が付(つ)・く
事態が差し迫って、追いつめられた状態になる。「納期が迫りとうとう―・いた」

尻(しり)に帆(ほ)を掛(か)・ける
慌てて逃げ去る。「悪事が露見し―・けて逃げる」

しりめ‐づかい【尻目遣い】
尻目に見ること。無視すること。媚(こび)や恥じらいを含んだ目つきで見ることにいう。「―に行き過ぎる」

尻目(しりめ)に懸・ける
① 人を見下し、さげすむさまや無視する態度などにいう。問題にしない。「人を―・ける」
② 媚びた目つきをする。

尻(しり)を上(あ)・げる
座っていた所から立ち上がる。訪問先から帰ろうとする。「客がようやく―・げる」

尻(しり)を持ち込・む
関係者に問題を持ち込み責任を問い、解決を迫る。「仲人に夫婦喧嘩(げんか)の―・む」

しろうと‐わかり【素人分（か）り】
素人でもよくわかること。「―のいい話」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

死(し)を決・する
死ぬ覚悟を決める。「―・して戦いに臨む」

心肝(しんかん)を砕・く
苦心・苦労をする。思いわずらう。「新技術の開発に―・く」

心(しん)が疲・れる
からだの奥深くに疲れがくる。特に、神経の疲れるようすをいう。「―・れる仕事」

しん - きじく【新機軸】
それまでのものとは違った、新しい工夫ややり方。「―を打ち出す」

しんき - まきなおし【新規蒔き直し】
もとに戻って、もう一度新しくやりなおすこと。「―を図る」

しん - きょう【進境】
進歩・上達の度合い。上達した境地。「―著しい選手」「一段の―を示す」

神経(しんけい)に障(さわ)・る
不愉快な気持ちを刺激する。腹立たしく思う。「―・る言い方をする」

心血(しんけつ)を注(そそ)・ぐ
心身の力のありったけを尽くして行う。「―・いだ作品」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しん - しゃく【斟酌】
［名］（スル）《水や酒をくみ分ける意から》
① 相手の事情や心情をくみとること。また、くみとって手加減すること。「採点に―を加える」「若年であることを―して責任は問わない」
② あれこれ照らし合わせて取捨すること。「市場の状況を―して生産高を決める」
③ 言動を控えめにすること。遠慮すること。「―のない批評」

しん - しゅ【進取】
みずから進んで物事に取り組むこと。「―の気性に富んだ人」

身上(しんしょう)をはた・く
全財産を使いはたす。「道楽に―・く」

しん - じつ【信実】
［名・形動］
まじめで偽りがないこと。打算がなく誠実であること。また、そのような心や、そのさま。「―を尽くす」「―な人柄」

しん - じゅん【浸潤】
［名］（スル）
① 液体がしみ込んでぬれること。「漏水が―して壁にしみができる」
② 水がしみ込むように、思想・勢力・雰囲気などが広がっていくこと。「生活の合理化が国民に―する」

しん - せい【真正】
［名・形動］
真実で正しいこと。本物であること。「―な（の）勇気」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しんせつ - ぎ【親切気】
親切にしようとする気持ち。「―を起こす」

しんせつ - ごかし【親切ごかし】
［名・形動］
親切らしく見せかけて、自分の利益を図ること。また、そのさま。「―に勧める」「―な（の）態度」

しん - そ【親疎】
親しいことと疎遠なこと。また、親しい人と親しくない人。「―の隔てなく招待する」

深窓（しんそう）に育・つ
上流階級の娘などが、俗世間から隔離された環境で養育されて大きくなる。

心臓（しんぞう）が強・い
厚かましい。ずうずうしい。また、ものおじしない。「見かけによらず―・い」

心臓（しんぞう）が弱・い
気が弱くて引っ込み思案である。「―・くて頼みを断れない」

心胆（しんたん）を奪・う
非常な恐怖を抱かせる。ぞっとさせる。「国民の―・う事件」

心胆（しんたん）を寒から◦しめる
心から恐れおののかせる。震え上がらせる。「―◦しめる犯行」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しん - ちん【深沈】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① 落ち着いているさま。「―として動じない」
② 夜が静かに更けていくさま。「秋の夜が―と更ける」

しん - ど【進度】
物事の進み方の程度。はかどりぐあい。「―が速い」「―をそろえる」

神(しん)に入(い)・る
技術などが非常にすぐれていて、人間の仕業とは思えない境地に達する。「技(わざ)―・る」

真(しん)に迫・る
表現されたものが現実のようすとそっくりに見える。「―・る映像」

しん - にゅう【滲入】
［名］(スル)
水などがしみ込むこと。「天井板に雨水が―する」

しん - めんもく【新面目】
今までにみられなかった新しい姿・ありさま。しんめんぼく。「―を呈する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　　↓　　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.